



日本サーバス会報 2016年10月31日発行

日本サーバス会長

熊本地震そして鳥取地震……。日本が火山列島であることは承知しながらも、被災地からの報道には心が痛みます。被災地のみなさまには心からお見舞い申し上げます。

各支部ではサーバストラベラーの受け入れや例会等の活動でお忙しくされているのではないのでしょうか。ぜひ、支部会報等で活動をお知らせください。

日本サーバス会報 2016年版第2号をお届け致します。今回は先日韓国で行われた東アジア地区会議（EA—Meeting）の報告を中心に作成致しました。ご一読ください。

以下の内容を掲載しております。

1. 東アジア地区会議概要

2. 参加報告

東アジア地区サーバス会議に参加して 日本サーバス 副会長 Y. S.

3. 出席者の声

T. S., Y. I., K. H., K. N., O. K., M. Y., S. S., T. Y., H. S., Y. K.,
N. M., S. H., O. T.

4. 日本サーバス本部の動き（主な活動を紹介）

1. 東アジア地区サーバス会議概要

- (1) 期日： 2016年9月30日（金）～ 10月2日（月）
- (2) 会合の場所： 韓国プヨ市プヨ百済（Buyeo Baekje）ユースホステル
- (3) 参加者： 韓国を含めて150人ぐらい 韓国外25人（内訳：インドネシア5人、台湾3人、シンガポール1人、日本16人。ビザの関係で入国できない国有り）

(4) 内容：

日付	時間・内容	備考
9月29日	19:00～21:00前夜祭	ソウル・レストラン
9月30日	8:00ソウル駅前集合	貸し切りバス2台でプヨ市へ 途中下車して ①世界遺産宗廟 ②サムソンMuseum ③水原の華城城郭を見学 昼食は専門店でカルビタン定食
	18:30プヨ市に到着	夕食会場へ。大きなレストランでバイキング
	20:30ユースホステル到着	部屋割り後、各自部屋へ。ロビーで交流 百済祭り開催中でそちらへ参加お誘い有り ユースホステルは世界遺産の定林寺のすぐ近く
10月1日	8:00～	ユースホステル食堂で朝食
	9:00～12:00	課題別ワークショップ ①第9回東アジア会議開催地とコーディネーター選出 ②提出議題の討論 その後、プヨ市長、外務省OB参加の下、開会セレモニー
	12:00～13:00	ユースホステルで昼食
	13:00～16:00	百済祭り見学を兼ねて①定林寺跡、②宮南池 ③国立プヨ博物館等を歩いて見学
	16:00～18:00	各国から活動報告、 *特徴的なものは別記
	18:30～	ユースホステル夕食
	20:00～22:30	文化の夕：第一部は外部の方を招いてのバンド演奏、歌・踊り、コントの演芸会、第二部は各国からの出し物。圧巻は地元韓国！
	22:30～	フルーツとビール、ワインで交流会
10月2日	7:00～	ユースホステルで朝食
	9:00～12:00	世界遺産①扶蘇山城塞、②落花岩、③白馬江等の見学
	12:30～	プヨ市内の参鶏湯専門店で昼食
	14:00	第8回東アジア会議の閉会宣言、それぞれの目的地へ

(5) 費用：

参加費用 300 ドル（日本からの参加者分はまとめて送金）

含まれるもの：① 2泊3日のホステル宿泊費

② 3日間の食事（レストランでの3食分を含む）

③ ソウルから扶余までの往復旅費

含まないもの：① ソウルまでの旅費

② 自由行動時の諸費用

③ その他個人的費用や各手みやげ

④ 旅行保険等

(6) 日本からの参加会員：

Y. S., I. Y., T. S., Y. I., K. H., K. N., H. S., O. K., M. Y., S. S.,
N. M., T. Y., H. S., Y. K., S. H., O. T.

(7) 合意事項：

- ① 次回の東アジア会議は 2019 年、モンゴルで開催。日本がモンゴル開催を支援。2018 年に韓国で国際サーバス会議が開催される予定のため。
- ② 東アジア地区コーディネーターは引き続き、韓国の Mr. S. D.
- ③ モンゴルは現在会員数 10 名未満。メンバー国になるよう各国可能な支援をしていこう、という呼びかけが S 氏より行われた。

(8) 活動報告： 報告はいずれもパワーポイントを使って行われました。要点を記します。

- 韓国： ① 韓国は若い人にサーバスの楽しさをわかってもらおうプログラムとして Peace Riding を企画し、実行している。サイクリングは国内ばかりでなく、外国へも出かけている。次は台湾一周を企画中。（日本へも阿蘇山、琵琶湖沿岸等でサイクリングを行ってきた。）
- ② 元外交官たちのグループであるシニアディプロマシーと協定を結び、活動に招待しあっている。（今回もシニアの方が数人見えていた）
- ③ テレビ局が 1 時間のサーバス特集ドキュメンタリーを放映してくれ、それを見た人たちから、問い合わせが増え、会員が増えている。その番組で放映された録画が一部紹介された。サーバス結成 15 周年を祈念して冊子を作る予定だそうだ。

台湾： NS が S さんから若い M さんに替わり、精力的に日常的活動を行おうと模索されている。会員は台北中心なので、活動も台北中心になるとのこと。

今は Sharing Gathering ということで、会員が集まって交流をしたり、施設訪問をしたりしている。

先日は Cultural Activity として、Muslim への偏見克服と言うことで、Tour to Mosque を行い、いろいろ説明を聞いて祈りの前の作法や祈りの作法等を体験したそうだ。

日本： 日本サーバスの最大の問題として、会員減の状況を報告し、日本社会が抱えている

- ① 高齢化
- ② 定年後も仕事をしなければいけない経済事情
- ③ 若者の海外への興味の薄れ
- ④ サーバススピリットの弱体化

- ⑤ それらに対する有効な手立てが講じられていない主体的力量の弱さ等を率直にだしながら、各支部が行っている活動を報告。

例会等に外国サーバスメンバーを招待して交流をしている、東海・北陸、九州支部の活動、近畿支部のモンゴルとの交流、関東支部の大学へのポスター掲示等を中心とした働きかけ。

(報告の要点をパワーポイントで提示しましたので、それを資料としてこのファイルの最後に添付します。)

2. 東アジアサーバス会議に参加して

日本サーバス 副会長 Y. S.

- ① 東アジアサーバス会議は、第1回から以下のような経過で今日に至りました。ここで特筆すべきことは、第5回までは、極東アジアサーバスという名称でしたが、第6回からは、東アジアサーバス会議となりました。

第1回	1998.3.28~29	日本(福岡)
第2回	2000.4.29~30	韓国(ソウル)
第3回	2002.3.30~31	日本(別府)
第4回	2007.4.7~8	韓国(釜山)
第5回	2008.9.27~28	香港
第6回	2010.11.5~6	台湾(台北)
第7回	2013.11.16~17	中国(広州)
第8回	2016.9.29~10.2	韓国(扶余)
第9回	2019年	モンゴルの予定

また、今回の韓国での日程が、従来の1泊2日から、3泊4日となりました。その大きな理由としては、2018年に開催される予定の国際サーバス会議に韓国が立候補しており、その事前の準備として、3泊4日という日程だったかもしれません。



- ② 東アジア会議は、何かを議決するというよりは、各国の状況の紹介や交流の場という色彩の濃いもののように思われました。
- ③ 今回は特に世界遺産クラスの遺跡等の見学、特に日本と百済の文化交流を含め、バスの中でもわざわざ楽譜までも準備されたアリランの大合唱は、サーバス精神そのものの交流でした。

④ 参加各国の文化交流では、残念ながら発表の時間が十分でなく、特にわが日本チームは、O さん（東海・北陸支部）の「フライミー ツー ザ ムーン」の独唱と全員での「おサルのカゴヤ」のコミカルな踊りを披露しました。残念ながら全員での合唱曲「上を向いて歩こう」は、英訳した歌詞も出席者分準備しましたが、時間の都合で紹介できませんでした。事前にそれなりの準備はしたといっても現地での練習の機会も少なく、ほぼぶっつけ本番という状況でしたが、ここでもサーバス精神がいかに発揮され日本チームは、面目躍如でした。

最後になりましたが、外国語高等学校の日本語コースの先生が、九州を中心とした生徒の語学研修旅行の計画を提示して我々の意見を聞きたいという申し出があり、多くの日本のメンバーがその話し合いに参加しました。小生は、30名以内の学生さんであれば、サーバスやほかの国際交流関係の機関と協力して、学生さん2人1組でホームステイをするような計画実現に努力されてはどうですかと申し上げました。後日、サーバス九州のメンバーが現地の高校と連絡を取り、高校生との交流の手助けを行ったと聞いております。

3. 東アジアサーバス会議出席者の声参加者の声

(1) EA Meeting に参加して

関東支部 T. S.

私は韓国を訪問するのは、今回が初めてでした。サーバス旅行は何度か経験がありました。近くて遠い国、お隣の国は初めてでした。何故なら英語がなかなか通じない国、ハングル語の理解に私は到底及ばない、と察していました。しかし、昨今の韓国はITの発達が著しくて、初めてサーバス会員の家に滞在させてもらった奥さんはスマートフォンを上手に使いこなして、翻訳ソフトで韓国語から日本語に変換し私達に伝達してくれました。最初のPRE-meetingには到着その日の内に奥さんに案内してもらい、迷うことなくソウル市内の会場まで到着する事が出来ました。

韓国サーバスの組織力は目を見張るものがありました。Regionがそれぞれに分かれているので、各自でmeeting後の旅行計画を立てなければなりません。～～～行きたいけれど？と訊ねると、それならmeeting開催地の扶余（ブヨ）～安東（アンドン）方面から車で来ている人がいるので、その人たちに帰りに乗せてもらおうとよいと紹介してもらいました。万事この調子でこちらの意向を汲み取り、計画に添って手助けしてもらえたのには感激でした。

大田（テジョン）駅前バス乗り場に困っていると日本語で何かお手伝いしましょうか？と、韓国紳士が近づいてきてくれ助かりました。地下鉄の駅を探している

と若い女の子から英語で「どうしましたか？」と訊ねられ「～～駅の乗り場に困っている」と話すと私に付いていらっしやい。と道案内をしてくれました。帰国後メールでお礼を言うと、彼女も大田（テジョン）は初めてで私達のために Information まで聞きに行ってくれたことがわかりました。聞くところに依ると何でもエジプトへ留学していた。と言っていました。そのことから察しが付きまして。日本でこのような場面に遭遇すると、私は此の辺りは不案内ですので、と断られるところです。

2 番目の滞在先はセカンドハウスを持っているミセス、リーで、最初からメールのやりとりに気持ちよく応じてくれた人でした。英語も分かりやすく、どんな人かしらと期待膨らむ数日間でした。扶余の会議場で出会ってみると、お互い顔を見合す事が多くて、私は英語の聞き取りに難儀し、一生懸命努力するのですが、西山先生に助けられました。最初、大田（テジョン）の自宅に招かれ、そこから車で 20 分位のセカンドハウスへ移動しました。そうこうしているうちに、彼女の話す英語に耳も慣れ、会話は盛り上がりました。最初はどうなることかと困惑したことが嘘の様でした。再会の約束を交わして次の場所へ移動しました。最後のサーバスホストは、急に受入れを承諾してくださり、ミセス R のご紹介のお蔭でした。この様に人々に助けられ、ハングルを理解しない私が旅行できたのは、大勢の人の支えによる 7 日間を過ごす事が出来たことに依りました。感謝で一杯で忘れられない旅行となりました。

(2) 献身的な「おもてなし」に感激、しかし・・・

関東支部 Y. I.

前夜祭から最終日の昼食「サムゲタン」そして帰路のバス手配まで、至れり尽くせりでした。ホール、会議室を備えた宿舎の入り口では民族衣装を纏った会員が出迎えて下さり茶菓の接待、2 日目の夜の交流会にはプロの芸人を招き大音響で盛り上げサービス。終わってからはたまた、飲み物にフルーツやらスナックやらを準備して交歓会の場を設定、いやはや・・・ 3 度の食事の後には毎度コーヒーのサービスあり。もちろん、第 1 日目も 2 日目も 3 日目もしっかり観光が組み込まれて、随所で SERVAS の横断幕を前に記念写真・・・もし日本で開催することになったら、果たしてこれだけの「おもてなし」ができるだろうか、案じてしまいました。しかし、「東アジア会議」という名のもとになされたことといえば、参加国の現状報告と活動報告だけ？ 報告に対する質疑応答もなかったし、意見交換もなかったし・・・あれれれという間に終わってしまいました。今会議の「共同宣言」のようなものも無かったのが不思議でした。また第 1 日目にいきなり次期東アジアの長と、次期会議の開催国決めというのも、いささかびっくりでした。

わたし的には？ 修学旅行の乗りで参加した不真面目ものですが、終わってから 9 日間、6 人のホスト宅にステイをして、十二分に楽しんできました。ステイで一番の思い出は、農業体験でした。ホストは肉牛の飼育と野菜果物栽培の農業をしていました。早朝、ご夫婦と一緒にイチジクを摘果、出荷準備をしてから朝食、朝食後

は奥様と落花生堀り、昼食後再び作業、体を動かした後の食事はとてもおいしかったです。

(3) SERVAS 東アジア会議 in 韓国に参加して

東海・北陸支部 K. H., K. N.

Servas 旅行としては初めての韓国訪問でした。我が家に来たことのある Servas 友人に招かれて、先ず釜山を訪ね、その後ソウル経由で、30日に5か国130名が会議場の扶余(プヨ)に集合しました。会議(2泊3日)の合間や懇親会での韓国メンバー100名あまりの手厚いもてなしには感動しました。手作りの料理や催し物にはどれも熱の入った、心のこもったものでした。一つの事に向かって纏まる姿勢を学びたいものです。個人宅に5泊(2軒)お世話になり、暮らしぶりを垣間見ました。最も印象に残ったのはSIM(Samsung Innovation Museum)見学とDMZ(北朝鮮との国境非武装地帯)訪問でした。

(4) 初めてのサーバスアジア大会に参加して

東海・北陸支部 O. K.

サーバスに参加して2年目で初めて今年は3名様のごホストをお受けし、又初めてのホストになられた韓国の方にお世話になりました。

サーバスについての知識もいくらか養え、言葉が通じなくても心は通じ合えるという初めての経験をいたしました。初めは不安と期待とが交差しておりましたが、仕事としての海外の経験とは全く違い大変興味深い旅を経験いたしました。ホストの M. J. さん姉妹と私で3姉妹になり、生活習慣の違いを感じながら別れの時には寂しさ

でいっぱいでした。お姉さまのご自宅には犬、猫、ニワトリ、ウサギ、インコウなどがたくさんいて、私はメスのインコウと写真が撮りたいとお願いいたしました。快く了解していただき、鳥かごから取り出し、何枚も写真を撮らせていただいた折、インコウの心臓の鼓動が「どきどき」と、手から伝わっていたのです。暴れたインコウの尾が落ち、黄色い羽根が泥にまみれ、大変悔みまし、今でも申し訳なく思っております。彼女の恐怖感、ストレスはその時最高潮だったに違いありません。自分の欲求のまま、無意識な感情がいかにか彼女を苦しめたのか、そんな経験をとおり、命の尊さを今さらながら痛感致しました。



最近の若者たちが、簡単に人の命を奪ってしまう現象を見ておりますが、何とかこの命の大切さを認識していただきたいと強く願います。

最後にアジア大会を開催するに際し、多くの皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

大変ありがとうございました。

(5) 東アジア会議に参加して

近畿支部 M. Y.

東アジア会議に参加して一番印象に残ったのは韓国サーバスの会長はじめ会員の皆さんの熱意でした。会議が終わってからの懇親会で韓国の会員の方々の手作りの料理や百済文化祭の案内など本当に粉骨砕身のご尽力に対し心より感謝しています。プレゼンではO会長が立派に日本サーバスを紹介していただき私たちも大変、誇りに思っています。又、Y副会長の挨拶はユーモアがあって素晴らしかったです。

(6) 2016年EA Meetingに参加して

近畿支部 S. S.

私は今回初めて、アジア会議に参加出来たところをとても感謝しています。皆様は、きっと会議の様子なんか報告されていると思いますので、私は全体的な感想を述べてみたいと思います。韓国は会員の数が多く、活気があり、2日間の日程も“素晴らしい”の一言です。この他、2日間以外、プライベートな旅行をしました。今回はすっかりサーバスメンバーの方にお世話になり、素敵なサーバス旅行ができ、感謝しています。

会員以外の韓国人もとても親切で感動しました。電車に乗れば私などは「白髪のおばあさんが重いリュックを背負って・・・。」と思われ「ここへ座れ」とばかり席を空けてくれました。また、街角で地図を広げてモタモタしていると、バス乗り場まで7、8分のところ私の旅行カバンを持ってきて案内してくれ運転手に行き先まで確認してくれました。また、別の所では若い女性が自分でも分からないのに、まわりに尋ねながら案内してくれました。日本では考えられない親切な人たちでした。つくづく日頃の自分の行を反省しました。

(7) 第八回 東アジア会議に出席して

九州支部 T. Y.

韓国の世界遺産の都、扶余で開かれた第八回東アジア会議に参加しました。国際会議に参加するのは初めての経験でした。プレゼンでは緒方会長は日本サーバスの現状を分かり易く時にユーモアを交えて話され日本の‘オガタ’の存在を示したと思います。準備をされるのにどれだけ大変だったかと思いました。韓国のメンバー以外にも色々な国の方々(インドネシア、台湾、シンガポール)と交流し、韓国サーバスの企画で世界文化遺産の宗廟、サムソン工場、水原の華城、要塞、鹿洞書院、城塞見学、川下りなどイベント盛りだくさんでした。

思い出に残ったのは、全員で訪れた場所ではないのですが(韓国メンバー2名と日

本メンバー3名で)鹿洞書院で文禄・慶長の役の際、加藤清正の配下として朝鮮に渡った沙也可(さやか、朝鮮語発音では‘さやが’1571年?~1642)が朝鮮文化を慕い、また秀吉の出兵に大義なしとの思いから3,000人の兵士と共に朝鮮側に降伏して朝鮮軍に加わり、火縄銃の技術を伝えて日本軍とも戦ったとされる。その功績を称えられ王から金海金の姓を賜り、金忠善(キム・チュンソン)と名乗って帰化人となった。テグ市郊外の友鹿里(ウロンリ)には沙也可の子孫が暮らしているそうです。朝鮮半島では英雄とされています。こういう話を聞いた事がなかったので驚きました。それに関する本が何冊が出版されているので読んでみようと思いました。

韓国サーバスのパワー、若いメンバーが多く、豊富な人材に驚かされました。オムさん初め韓国の執行部の皆さま、そして緒方さん、何から何までお世話してくださいました。心より感謝いたします。

(8) 家庭的な雰囲気にあふれるサーバス

九州支部 H. S.

少々不安を持って臨んだ初めてのEAミーティング。電車、ステイ先の手配、迎え等至れり尽くせりに感激しました。1泊目では、再会を喜び、手作りの夕食に娘姉妹の演奏、3名の会員を加え、会話が弾みました。翌日は近くの国立公園にハイキングをし、山でアリランと一緒に歌いました。

2泊目でも趣味の作品を見せて頂き、美味しい朝粥と良い思い出です。初対面でも既知の友だちのように付き合えるサーバスは本当にすばらしい。

(9) EAミーティングに参加して

九州支部 Y. K.

会議そのものは、英語力の不足でおもしろくはなかったのですが、前後の世界遺産の観光や、見学がとてもよかったです。特に、テグの郊外にある鹿洞書院に連れて行ってもらい、朝鮮に帰化した日本人「沙也可」のことを知ったことが、想定外の収穫でした。また、以前知り合った人たちとの再会や、新しい素晴らしい出会いが嬉しいことでした。清州外国語高校日本語科の先生から、日本への修学旅行の話聞き資料を見せてもらい、大変感動しました。

(10) 第8回東アジア会議に参加して

九州支部 N. M.

今回はエリア・コーディネーターではなく日本サーバスの一会員として参加しましたが、韓国の皆さん方の熱烈な歓迎ぶりに感動しました。中国、香港およびモンゴルから参加者が一人もなかったのは残念でしたが、インドネシアとシンガポールに方々が華を添えて頂きました。次回は2019年にモンゴルで開催ということが決まりま

した。それに参加するのが今から楽しみです。

(編集者より：Nさんからは長文の参加感想をいただきましたが、それは九州支部会報にアップしていただくことになりました。HPでご覧下さい。)

(11) EA meetingに参加して

九州支部 S. H.

9月28日仲間5人と福岡港からビートルで釜山入りした。早速トラブル発生。大邱駅で待つ私たち、東大邱駅で迎える大邱会員たち。1時間遅れて予期せぬククストレスランでの歓迎会。大邱、ソウルにホームステイして扶余へ。なぜ韓国会員が多いかわかったような気がする。とにかく情が厚い、熱い。5月に購入したスマホで大邱、釜山、台湾の会員たちとLINEでつながったのが一番の収穫です。

(12) 一言感想

九州支部 O. T.

今回の感想を一言で言えば、韓国サーバスのエネルギーとホスピタリティに圧倒された、でしょうか。台風シーズンで船の運休等も心配されることから、九州支部のメンバーは会議開催前々日に韓国に入り、釜山港でオムさんとお連れ合いの出迎えを受け、すぐにホームステイを割り当てられたテグ市に向かいました。テグでは、歓迎夕食会が20数名参加で催され、びっくり。帰りはまたまた台風報道を心配して早めに釜山に向かいたいとする私たちをメンバーの方が、急遽、大田駅まで車で送ってください、恐縮のしどろしどろでした。

ミーティングでは今まで出会ってきたたくさんの方の知り合いとも会え、否が応でも気持ちが高揚させられました。インドネシアの方とは訪問の約束をし、早速、切符を探しはじめました。EA-Meeting参加準備のために費やした時間と苦労が全部吹き飛んでしまった感じです。やっぱりサーバスですね～！！

<編集者よりお詫びとお願い：「参加のしおり」で200字程度の参加感想をお願いしますと記していましたが、無理をして短いコメントにされた方もいらっしゃると思います。すみません。ぜひ、所属支部の会報に参加記をご投稿いただき、それぞれの経験を支部のみなさまとシェアされてください。>

4. 日本サーバス本部の動き (主なものを紹介します)

- (1) 東アジア会議 (EA-Meeting) 9月30日～10月2日 韓国プヨにて開催
日本サーバスから16名参加。本会報はその特集号です。
会議での日本サーバス報告の骨子はこのファイルの後部に添付します。

- (2) 文書係：

①サーバス紹介リーフレット作成

②入会案内ガイドブック作成

①②の両者とも HP にアップされていますし、文書係からは CD で各支部長に届けられていると思います。ぜひ、ご活用ください。支部の会員にも活用を勧めて下さい。

九州支部長は近くの公民館や国際交流関係のところにリーフレットを置かせていただいているそうです。関東支部では都内の大学にサーバスのポスターを掲示させてもらっているそうです。サーバス理念普及のため各支部での多様な取り組みが期待されます。

(3) 財政チーム：

札幌会議で国内会議の旅費支給について議論があったことを受け、財政チームが旅費等のシミュレーションを行い、国内会議担当者に結果を提示して、国内会議開催地選定に当たっています。2017 年国内会議の開催地は東北地区になっています。

(4) S Y L E チーム (Servas Youth Language Experience) の活動

国際サーバス (SI) では Servas Youth を中心として SYLE の活動が盛んになってきています。日本サーバスも遅ればせながら、プロジェクトをつくり、その導入について検討を行っています。サーバスメンバーあるいはその子弟でホスト宅に滞在しながら、その国の日常会話を学びたいという希望者が対象です。

日本サーバスも日本での SYLE を希望する方がいて、その方を受け入れ OK のホストがあれば、試験的にやってみて、やりながらノウハウを蓄積していくのもいいかもしれません。トラベラーの受け入れ原則は 2 泊 3 日ですが、それを多少延期して草の根での日本語生活を体験していただく、という程度での Servas Youth Language Experience です。

(5) 国際部：

国際サーバスハンドブック '2015 の日本語版がもうすぐ日本サーバスの HP にアップされます。N さんと T さんのご尽力です。英語版で十分事が足りている方も多いと思いますが、日本語訳があった方がいい方も多いと思いますので、参考にしてください。

国際サーバスニューズレターの日本語解説付き版も近々アップされると思います。

(6) 日本サーバスの旗

国際サーバスのロゴの変更に伴い、各国でいろいろなシンボルの変更が行われています。日本サーバスも財政負担のない部分での変更は随時行っていますが、今回、旗も新調いたしました (予算化されていまして)。各支

部独自に新しいロゴで新調されたところもあるかもしれませんが、新しい旗を使いたい意向がある支部はお申し出ください。会長が預かっていますので、貸し出します。

編集後記

今日は10月31日、テレビはハロウィンということで賑やかな仮装で陽気に盛り上がる人々を映し出しています。今年の仮装・化粧(?)は「傷」が人気だとか。人を「どきっ」とさせる効果はあるのですが、今も戦火や災害で傷ついている市民や子どもたちがいることを思えば、それを祭りだと楽しく笑える心境にはなかなかありません。みなさまはいかがお感じでしょうか。

サーバス活動で気づかれたこんないい話、こぼれ話等ぜひ、お寄せください。

日本サーバス会長

以下は「東アジア会議 (EA-Meeting)での日本サーバス報告の骨子」ファイルです。

On September 30~October2, 2016

At Buyeo, Korea

By O. T. (NS of Servas Japan)

Title: Report from Servas Japan to the East Asia Servas Meeting

I: General view

1 Regional Division of Servas Japan

- Day-to-day servas business are performed by 7 regions.
- Each region has its own budget and activities under the Regional Secretary

2 National Meeting

- National Meeting has been held once every year since 1976.
- Representatives of 7 regions and 8 board members have voting rights.
- National budget, general rules and policies, and election of choosing the board members are discussed and decided.

3 Numbers of the current Members (as of the end of 2015)

Total : 252 (15th largest Servas group in the world, Korea is the 10th)

Regional Distribution:

Hokkaido Region(11), Tohoku Region(20), Kanto Region(64), Tokai & Hokuriku Region

(39), Kinki Region(41), Chugoku & Shikoku Region(21)
 Kyushu Region(56)

4 Other Data

- 28 new members joined during 2015
- 38 members retired or quit during 2015
- 57 Servas Stamps were issued during 2015.
- 189 Servas Travellers from abroad visited Japan during 2015.
 (This is not an accurate figure because of doubling reports
 about the same travellers or lacking of reports.)

5 Problems for Servas Japan

(A) Decreasing tendency of the membership in the following background

- Aging (65% are over 60 years old. See the age distribution table below.)

Age	20's	30's	40's	50's	60's	70's
Ratio	2.4%	7.3%	10.6%	13.6%	41.3%	24.8%

- Postponement of retirement age
- Hard and busier job conditions for working -age-people
- Still unsatisfactory housing situation
- Withering of the interest in world affairs of younger generation
- Lack of our efforts to recruit new members and appeal

(B) Our organizational problems

- Spiritual gap (between old and new members concerning the Servas values)
- Technological gap (among members in the IT literacy and competence)
- Others

II Regional Activities

(A) Kinki Region

- Cooperative Study on Special Education with Mongolia; one week study tour in Kyoto and Osaka in 2015 and co-working study camp in Mongolia in 2016

(B) Tokai and Hokuriku Region

- Regional meeting in Nature (Tateshina Highland) inviting Korea members in 2015
- Utilizing of facebook for activating the exchange among Servas members in the Region

(C) Kyushu Region

- Regional meeting in Taketa historical city inviting Korea Servas members
- Group visit to Yosu and Sunchon (in Korea) and Taiwan

(D) Hokkaido Region

- Happy evening after the National Meeting with participation of Korean Servas members passing by Sapporo in March 2016.

(E) Kanto

- Approach to Students by preparing PR Poster and exhibition on the official notice-board of some universities and colleges

III Other Topics

Earthquake Damage — Kumamoto , 2016

One member's house in Kumamoto, Kyushu, was totally broken by earthquake in April, 2016. Fortunately, there was no injury. Servas members all over Japan made a little monetary contribution to her and some members physically helped the clean-up work.

We Servas Japan appreciate that we received a lot of messages of sympathy from many Servas members abroad.